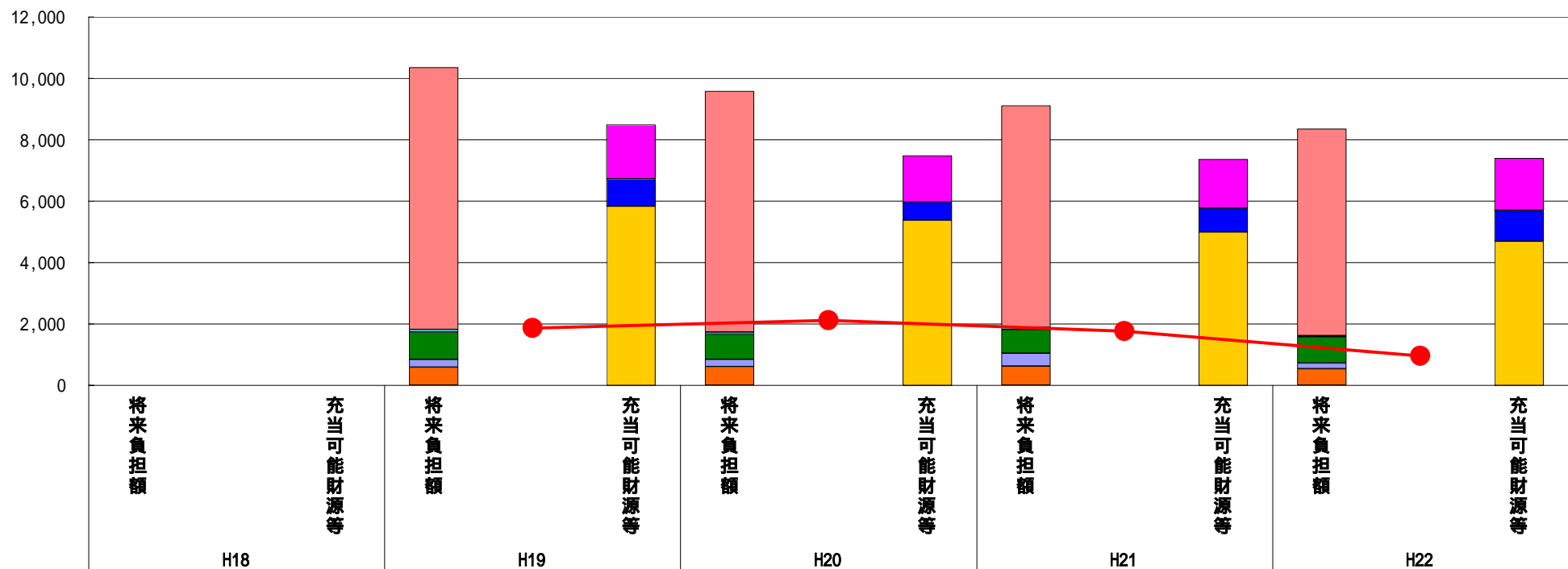


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道中富良野町



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	8,537	7,852	7,242	6,735	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	71	62	53	45	
	公営企業債等繰入見込額	-	899	833	785	853	
	組合等負担等見込額	-	256	234	413	180	
	退職手当負担見込額	-	583	603	623	542	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等(B)	充当可能基金	-	1,753	1,499	1,582	1,693	
	充当可能特定歳入	-	900	591	777	1,009	
	基準財政需要額算入見込額	-	5,829	5,381	4,996	4,690	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	1,864	2,113	1,762	963	

分析欄

将来負担比率の減少要因としては、将来負担額の（地方債現在高・債務負担行為に基づく支出予定額・組合等負担等見込額・退職手当負担見込額）の減、充当可能財源等（充当可能基金等）の増、標準財政規模の増、歳入公債費等額の減などが挙げられる。

要素すべてにおいて将来負担比率が減少する要因となっており、地方債現在高の状況から今後も減少していく見込みとなっているが、今後の財政状況を十分に見極め、将来の財政負担の適正化に努めていく。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。